

# スタートアップと地域の共創推進戦略

～新しい社会・経済の変革に向けて～

2026年度版



2026.4 策定



## 政令市の中でも最も深刻な人口減少

### ■人口推移(1990→2020)

静岡市  $\Delta 6.2\%$  静岡県  $\Delta 1.0\%$  浜松市  $+5.2\%$

### ■人口将来推計

67.5万人(2024)  $\rightarrow \rightarrow \Delta 27.2\% \rightarrow \rightarrow$  49.2万人(2050)

著しい人口減少

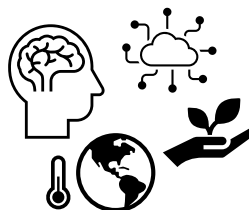
## 数多の複雑な社会課題

多様な地域環境  
住民の多様なニーズ



豊かな自然環境  
交通の要衝  
高次都市機能

社会の大変革期



知能革命  
AI・ビッグデータ活用  
環境負荷低減



## データから見る静岡市の経済の現状

■開業率 静岡市 4.56% … 政令市 5.56% 全国 4.68%

■廃業率 静岡市 5.61% … 政令市 6.02% 全国 5.51%

※R3経済センサス

■スタートアップ企業数 27社

■地域幸福度指標 …以下の項目が、全国偏差値50を下回る

【多様性と寛容性】若者が活躍しやすい・女性が活躍しやすい 等

【事業創造】新たなことに挑戦・成長するための機会がある

【雇用所得】やりたい仕事を見つけやすい・適切な収入を得る機会がある

➔ 若者が新たな挑戦をしやすい環境 にはなっていない

## 経済成長を停滞させる構造

変化が起きにくい

新たな挑戦が生まれにくい

新たな人や企業が集まらない

産業の固定化・停滞

※ 静岡市は現状“豊か”であり、危機感による変化の必要性を感じにくい  
(市民1人当たりGDP、直近10年間の平均成長率は政令市3位)

背景  
・  
現状

数多の複雑な社会課題

経済成長を停滞させる構造

課題

数多の社会課題を本気のプレイヤーが集まる機会と捉え、  
**社会課題の解決**と**地域企業の変革**に取り組む  
(地域社会の変革) (地域経済の変革)

社会課題の解決と地域企業の変革を実現するためには  
**多様な主体による「共創」**が必要不可欠

特に、革新的な技術やビジネスモデルを有する**スタートアップとの共創**が重要

取組の  
方向性

# VISION



## 社会課題の解決・地域企業の変革の先進市

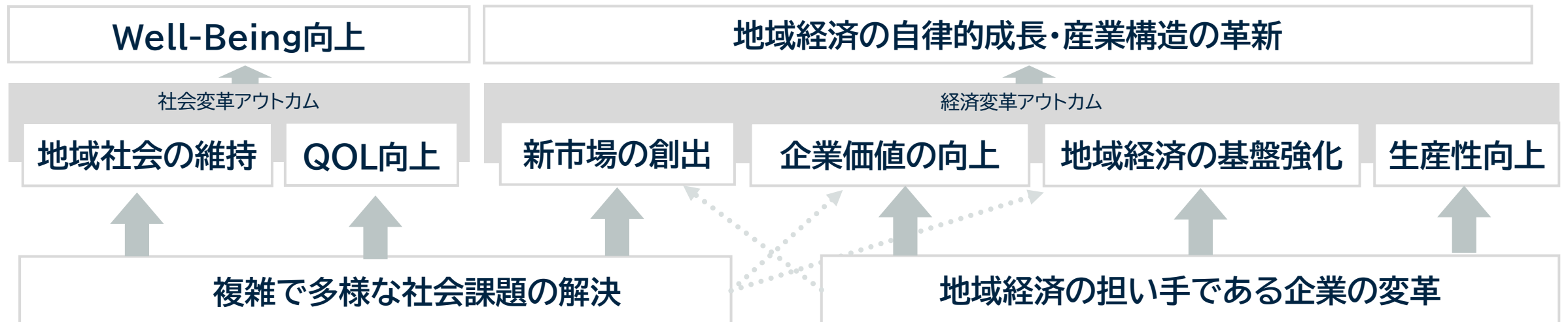
新たな価値が次々と生まれ、地域の未来を自らがつくり実現する  
恵まれた地域環境(…あらゆる社会課題の宝庫)を活かし、社会課題に挑戦する人の一步を支える

#市民のWell-being向上 #地域経済の持続的発展 #社会的インパクト創出

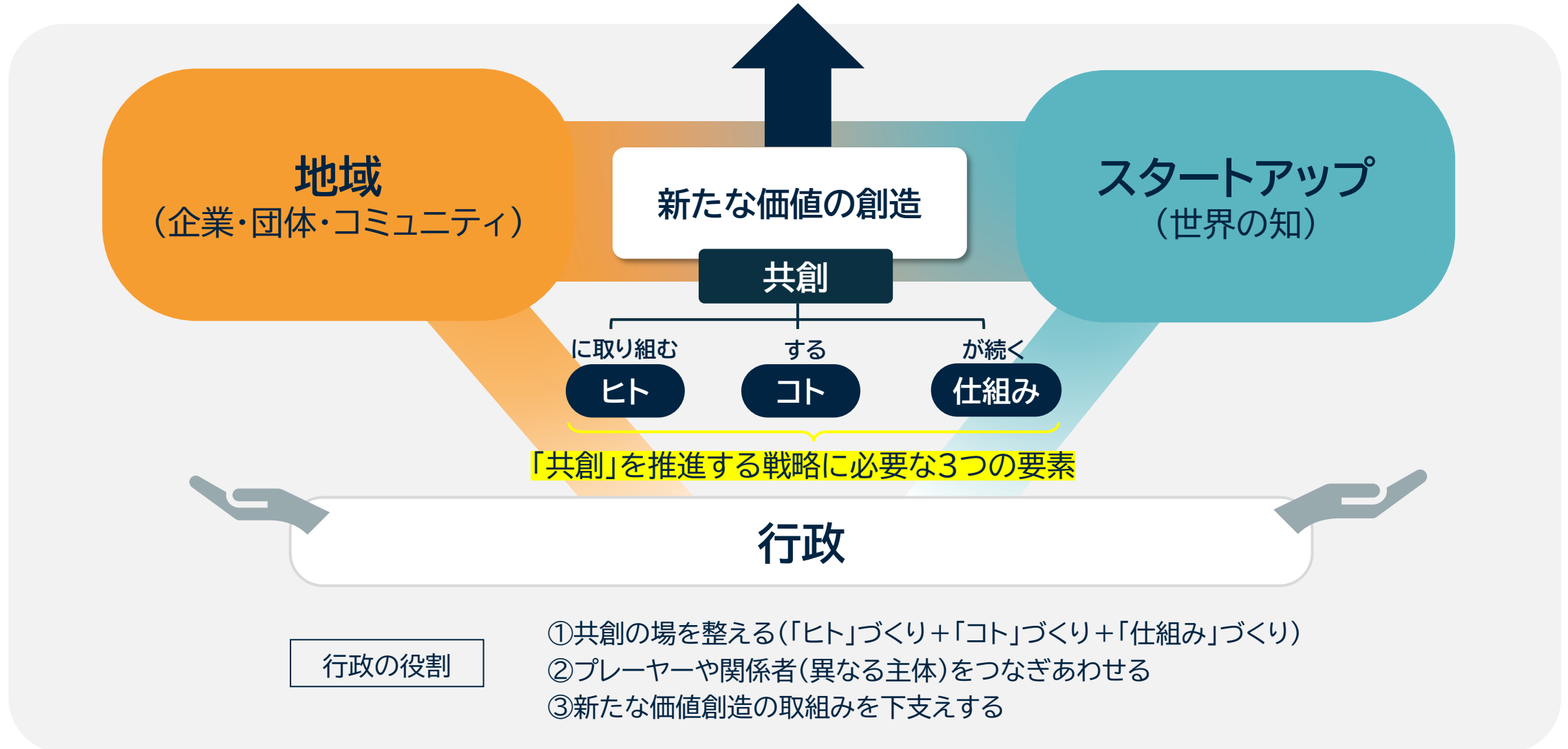
## 社会課題の解決・地域企業の変革の先進市

「世界の知」×「地域社会の大きな力」の共創で、新たな価値が次々と生まれる地域へ  
(スタートアップ) (企業・団体・コミュニティ)

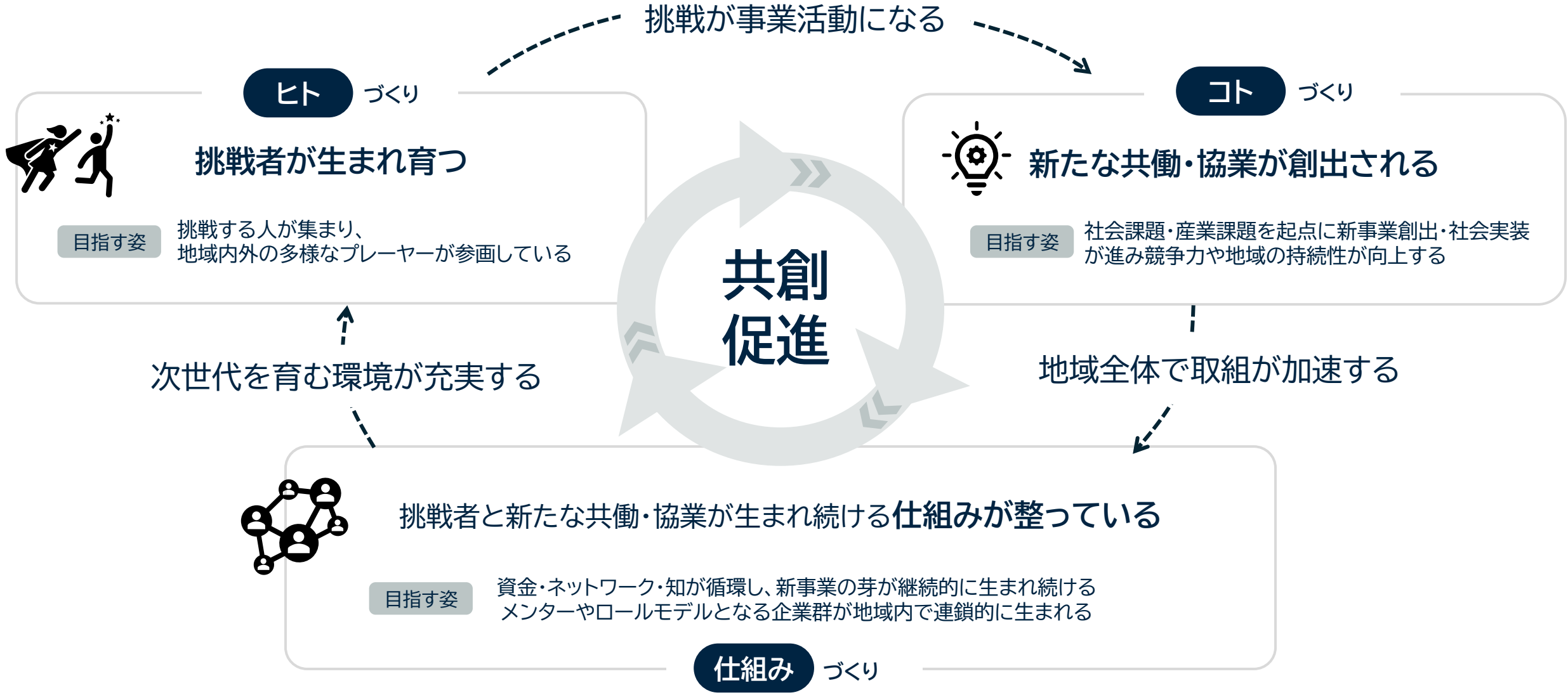
<生み出したい理想の状態>

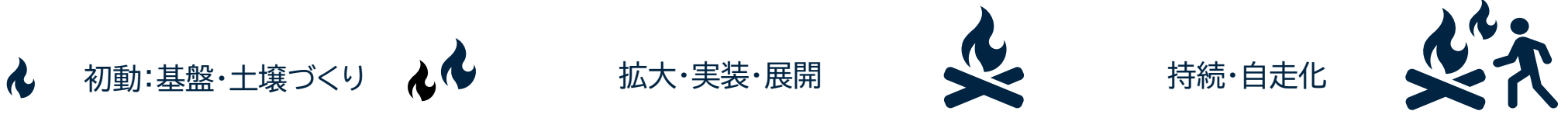


## 社会課題の解決・地域企業の変革



# 重点戦略(三本柱)





**挑戦者の育成**

挑戦の芽が見え始める  
プロジェクト・個人単位での挑戦が増える

小さな実践が増加する  
学生起業や事業体での取組みが増える

挑戦が連鎖し、身近になる  
起業が人生(キャリア)の選択肢として定着する

**共働・協業の創出**

共創・協業による実証が増える  
プログラムを起点に社会課題が可視化され、地域内外から共創への関心が高まる

取組が社会実装される  
実証の増加・新事業の稼働  
地域企業の変革が進む

取組のインパクトが地域内外に拡大する  
成功モデルが複数生まれ、広く知られる  
新社会システムで市民生活がより良くなる

**仕組みづくり**

支援制度が整い連携が始まる  
個別の制度・拠点・プログラム間連携が開始する  
プレイヤーがつながり交流・共有する場がある

資金・人材・情報が循環する  
参画する主体が増え、リソースが循環し始める  
取組価値の可視化や事例の発信が活発になる

自律的な事業創造サイクルが根付く  
成功者が地域のメンター・投資家になる  
仕組みの横展開や、仕組み創出する主体が増える

2024

now

2027

2030

## スタートアップ等

### 静岡市におけるスタートアップ等の定義

革新的な技術やビジネスモデルを有し、  
新たな価値創造に取り組む企業

スタートアップ

+

革新的な技術やビジネスモデルを持つ  
企業・既存企業の新規事業部門

例

- ・地域資源の活用や市内企業と連携を行うスタートアップ
- ・製造業や海洋産業などの戦略産業と親和性のあるスタートアップ
- ・社会課題・地域課題の解決に取り組むスタートアップ(ローカルゼブラを含む)
- ・革新的な新規事業開発に取り組む市内企業(アトツギを含む)

## 地域の共創パートナー

社会課題・地域課題の解決に取り組む市内企業

新規事業や事業変革に取り組む市内企業

市内の研究機関・教育機関

ソーシャルセクターや市民活動団体

## 地域の支援機関・支援者

金融機関

先輩起業家

VC・CVC・エンジェル

伴走支援者  
(土業/インキュベーター/アクセラレーター)

## 挑戦者の育成

ヒト

- ① アントレプレナーシップの醸成
  - … 起業家による中学・高校等への出前講座
- ② 起業前後の起業家支援
  - … 起業・経営セミナー、新規事業創出の伴走
- ③ スタートアップの誘致
  - … スタートアップ立地補助金、誘致視察ツアー

## 共働・協業の創出

コト

- ① 社会課題を解決する共創事業の創出促進
  - … 知・地域共創コンテスト
- ② 市内企業の競争力を強化する協業事業の創出促進
  - … 市内企業イノベーション創出事業
- ③ 共働・協業事業の拡大に必要な資金調達の支援
  - … スタートアップへの出資

## ヒト・コトが生まれる 仕組みづくり

仕組み

- ① 支援者間のネットワーク構築・連携の強化
  - … 金融機関等との連携協定に基づく支援
- ② 交流・支援拠点の設置運営
  - … コ・クリエーションスペース
- ③ スタートアップ製品の市場創出・展開支援
  - … 優先調達、スタートアップ連携トライアル

## 社会課題解決のための 共創プロジェクトの 社会実装数

スタートアップ等において、製品化・サービス化された件数  
市において事業化された件数  
他地域に展開された件数

(2025) **2件** (2027) **10件** (2030) **25件**

※2024年度からの累計

## 市内企業とスタートアップの 協業による新規事業の 社会実装数

市内企業・スタートアップ等において、  
新たに製品化・サービス化された事業数

(2025) **2件** (2027) **23件** (2030) **60件**

※2024年度からの累計

## 市内スタートアップ数

データベース(speeda)登録件数  
立地補助金利用企業数・コクリエーションスペース登記数

(2025) **27社** (2027) **44社** (2030) **66社**

## 市内スタートアップの 資金調達件数

市内スタートアップの資金調達件数  
※過去に資金調達を実施した件数の合計

(~2025) **29件** (2027) **35件** (2030) **59件**

※年度末時点集計